

# 県民喜びと期待

## 養蚕農家に光

富岡市の養蚕農家は15戸にまで減少した。今回の決定は養蚕農家にとって希望の光になる。養蚕を存続させるためにも、世界遺産になってほしい。

高橋 純一さん(63)  
富岡市桑原

## 誇りと自信に

住民の誇りと自信につながる。製糸場を計画した渋沢栄一の生家(埼玉県深谷市)は、平田宅から2キロほど。共通パンフレットがあってもいい。

栗原 知彦さん(71)  
伊勢崎市境島村



関心を集める製糸場の自動繰糸機 3月

## 物語つながる

曾祖父の時代から織物業を営み、群馬の糸の素晴らしさを実感している。桐生も物語としてつながっている。機場を見せて絹の必要性を伝えたい。

泉 太郎さん(48)  
桐生市東

## 県産こだわり

江戸小紋を始めて19年。県産繭にずっとこだわっている。世界遺産登録に近づき、若い世代がシルクに触れる機会が増えるといい。

田中 正子さん(60)  
高崎市鼻高町

## 思い報われた

富岡製糸場をアピールしようと、学生と作った映画にかけた思いが報われたようで胸が熱くなる。製糸場の文化や文化を育てた空気にも触れてほしい。

住谷 公久さん(43)  
前橋市総社町

## 養蚕見直して

約50年にわたり藤岡市内で養蚕業を営んでいる。地元の高山社跡は養蚕の普及に貢献した施設。これを機に養蚕業の価値もあらためて見直してほしい。

飯島 進さん(70)  
藤岡市矢場

## 「大クワ」守る

「薄根の大クワ」を代々守ってきた。周囲の草刈りなどを行っている。世界遺産への推薦で、沼田の観光名所になってくれると期待している。

石井 ミツさん(77)  
沼田市石墨町

## 絹に誇りを

20年以上前から、県産絹を使った友禅の創作に取り組んできた。染めるとより引き立つ絹の良さを多くの県民が知り、誇りを持ってほしい。

永井 興子さん(64)  
安中市松井田町

## 歌通じて応援

2005年に初めて製糸場を訪れた時、赤れんがを抜ける風から歴史を感じた。シンガー・ソングライターとして、歌を通じて応援している。

黒崎 由香さん(36)  
太田市宝町

## 風穴評価に喜び

荒船風穴は、県議や村長を務めた祖父の静太郎が建設した。数千円相当の私財を投じたことが、時代を超えて評価されたことがうれしい。

庭屋知恵子さん(82)  
下仁田町西野牧

## 魅力発信する

赤岩でガイドを務めて7年。絹産業遺産群が世界遺産になり、たくさんの観光客が訪れることを願っている。赤岩も魅力を発信したい。

安原 義治さん(84)  
中之条町赤岩

## 絹で世界進出

日本は絹で世界進出を果たしたと言っても過言ではない。ここまですで来られたのは関係者の努力のたまもの。一日も早く世界遺産になってほしい。

小倉 肇さん(65)  
みどり市大間々町

## 工女と縁深い

伊香保温泉で働く人々は製糸場で引いた糸で作った着物を身に着けたり、工女が訪れたりと縁が深い。この機運を追い風に結びつきを深めていきたい。

福田 朋英さん(60)  
渋川市伊香保町

## 繊維業知って

110年続く織物会社を夫婦で営んでいる。製糸場にも何度か足を運んだ。近代化を支えた繊維産業が広く知られることを待ち望んでいる。

山岸 美恵さん(65)  
館林市仲町